

---

## 治療施設委員会

---

下記に記すガイドラインは、さまざまなサービスの分野で活動するAAメンバーの経験下記に記すガイドラインは、さまざまなサービスの分野で活動するAAメンバーの経験からまとめられたものである。ここにはまた、「12の伝統」とAA評議会(アメリカ・カナダ)とによる指針が反映されている。

---

### 治療施設にいるアルコールクにメッセージを運ぶには

治療施設にいるアルコールクの手助けに携わるにあたり、AAメンバーは治療施設にメッセージを運んだ経験のあるメンバー達から引き出された提案をできるだけ利用しながら、活動を進めている。

このガイドラインは、AAメンバー達が治療施設にメッセージを運んだ経験を要約したものである。GSOからは、このガイドラインのほかにも「治療施設ワークブック」が発行されており、治療施設へのメッセージ活動の詳細な情報、例えば、治療施設の担当者にアプローチする方法、その他さまざまな役立つ情報がカバーされている。治療施設委員会のチェアパーソンには、このワークブックが無料で提供される。

### 目 的

治療施設委員会が作られる目的は、治療施設にいるアルコールクに回復のメッセージを運ぼうという個々のAAメンバーやグループの活動を調整し、さらには施設を出た人が地域のAAグループにつながる際のギャップを埋めることにある。

治療施設委員会が、地区や地域のサービス機構の一環として作られている地域もあれば、セントラルオフィスのサービス委員会の一つとして作られた地域もある。まずは個人のメンバーやグループが独自に12番目のステップ(メッセージ)活動を行っていて、その結果、委員会が作られるという場合が多い。経験によれば、1区域の中のグループ数がかなりあった方がこの委員会はいま機能するようである。

地域によっては、治療施設や矯正施設へのメッセージ活動に関心を持っているAAメンバーが、全体的なサービス機構とは離れて、しかし協力はしながら、病院施設委員として活動をしているところもあり、うまく作動している。特にいろいろなサービス委員会の間でコミュニケーションがなされている地域ではうまく機能している。

## 歴 史

AAの共同創始者が初めて飲まずにいられるようになったのは、病院にAAのメッセージを運んだことによる。治療施設の中でまだ苦しんでいるアルコールとかかわることが、自分自身のソブラエティを続ける上でどれほど大きな価値があるかは、多くのアルコールが知るところである。

1934年にビル・Wはニューヨーク市のタウンズ病院に入院している酔っ払いたちの手助けを続けた。一人として関心を払ってくれる者はいなかったが、しかしビルは飲まずにいられた。ドクター・ボブはオハイオ州アクロンの聖トーマス病院に入院中の何千人ものアルコールとかかわった。1939年、ニューヨークの精神病院であるロックランド州立病院で生まれたグループが、AAの病院内グループの第一号となった。

今では世界中の治療施設で何万件ものAAミーティングが行われている。まだ苦しんでいるアルコール——その人たちがたとどこに居ようと——に12番目のステップ活動をし、その人のスポンサーをする活動は、私たち自身が飲まない生き方を続けるための最も重要で最も満足のいく方法であり続けている。

治療施設に対するサービスは、かつては「施設委員会」という名称で、矯正施設と組み合わせられていた。1970年代の初頭から治療施設が急増したため。1977年の評議会で施設委員会を解消し、委員会を2つに分けた。矯正施設委員会と治療施設委員会である。

(注：病院や治療センターでのAAの活動については、“AA成年に達する”に詳しく書かれている)

## 活動を始めるにあたって

病院や治療施設の中には、認可を受けた人しか施設内入所が許可されない所もあり、その場合、まず第一歩はその施設の長と交渉を始めることである。最初の交渉は専門家協力委員会がする場合がある。AAの「12の伝統」の範囲内で、AAがその施設とどう協力していけるかを探る話し合いをしておけば、後になって数々の落とし穴にはまらずに済む。

できることなら、まずAAはどのようなものであり、AAがしないことは何かを、施設のスタッフたちに説明する機会を持っておいた方がよい。そのような説明会をするにあたっての役立つサービス資料は、GSOが提供できる。その中でも「ホープ」というビデオはAAのさまざまな原理を説明したものである。例えばAAの第一の目的やAAのいろいろな側面を紹介しており、施設の経営者やカウンセラー、利用者の患者たちにも関心を持ってもらえるだろう。

「治療施設のAA」というパンフは、治療センターで行なわれているさまざまな種類のミーティングを紹介している。例えば、AAグループが、自立の伝統の下に、教会や学校の会場とまったく同じように、その施設を会場として借りて定例のミーティングを行なっている場合がある。施設利用者である患者の参加は歓迎される。その場合、施設側では治療中の患者を実際のAAに簡単に紹介できるという利点がある。

治療施設内ミーティングは、このようなAAグループが行なう定例のミーティングとは異なるものである。治療施設内AAミーティングとは、患者や入寮者のために行なわれるものであり、一般のAAメンバーたちが自由に参加できるというものではない。AAメンバーが招かれて患者向けにこのようなミーティングを開催することがある。その場合、大体スピーカーとして2～3名が一緒に出向いている。地元の治療施設委員会が責任を持っ

てこのようなミーティングを行なっている場合がある。また治療施設のスタッフがミーティングを取りまとめている場合もある。

治療中のアルコールクを地元のAAグループのミーティングに出席させている施設も多い。その場合、グループが前もって通知を受けていれば、施設から訪ねて来た人を確実に受け入れる手筈が整えられる。そのような配慮はすべきである。

このような12番目のステップの実践は、すべてのAAグループ、すべてのAAメンバーが公平に参加するチャンスを与えられるべきである。委員会には、できるだけたくさんのグループからメンバーに出てもらった方がはるかに効果的である。そこからチェアパーソンを選出し、地域の中の治療施設が確実にAAの協力や援助を受けられるよう計画を立てていく。

治療施設委員会はだいたい毎月一回会合を持ち、担当を決めたり、その他やるべきことを処理している。以下の活動はある地域の委員会から提出されたものだが、それぞれの地域で参考にできる考え方や利用できるプログラムがあることと思う。

- 1・ワークショップ開催は、新人の委員会メンバーに患者のかかわり方やその心構えを知ってもらい、さらに、このサービスに関わった経験のあるメンバーに分ち合ってもらおう上で非常に効果があることが立証されている。
- 2・初めて患者向けのミーティングを行なう活動に加わったAAメンバーのために、ガイドラインを作成した地域もある。
- 3・AAがすること、しないことを説明する手紙を、自分たちの地域内にある全施設に送付しているという委員会は数多い。
- 4・「ホープ」や「AA—INSIDE VIEW」のビデオは、スタッフ、患者の双方にとって、メッセージを運ぶ上で、非常に効果ある道具になっている。

#### 治療施設委員会の基本的な役割

- 1・自分たちの地域にある施設の施設長の許可を取って、施設の中にAAミーティングを運ぶ。
- 2・グループに参加を呼びかける。地域によっては、全グループから治療施設委員を出してもらっている。
- 3・臨時の連絡先をもつプログラムを調整する。
- 4・これらのグループやミーティング用にAA出版物を購入し配布する。

#### 治療との関連

- 1・治療施設の規則を理解し、尊重し、従うように努める。

- 2・AAの役割や目的を書いた情報を常に提供する。
- 3・治療施設内でAAミーティングが始められるよう援助する。

### ミーティング—— スピーカー

地域によっては、それぞれのグループに対して、訪問する施設と時間帯を割り当てており、このシステムは非常に上手く回っている。しかしながら、途中で何時の間にか中断してしまったという場合もある。問題は誰がスピーカーを探す責任を持つかを定めることにあるようだ。そのような責任を任せられるのは：

- 1・各施設との連絡チェアパーソン、あるいは「ミーティングスポンサー」。  
その人が個々のスピーカーを探し出す。
- 2・チェアパーソンから指名を受けた人。
- 3・委員会チェアパーソン。その人が地域内のグループの順番を決める。
- 4・委員会メンバーが全面的に責任を引き受け、自分たちの間で順番に担当。ただし、自分たち以外にもスピーカーを用意する。

治療施設のミーティングに責任を持つメンバー全員が口をそろえて強調しているのは、委員会外部からもいろいろなメンバーが参加してくれた方が、はるかに上手くいくということだ。そうすれば患者はいろいろなAAメンバーの人たちの話を聞くことができ、自分に結び付けやすくなる。

確実にこなうことがどれほど重要かは、何度も念を押して強調したい。

### 出版物および視聴覚資料

治療施設でのミーティングには、それにふさわしい出版物を提供し、ビデオやテープといった視聴覚資料を準備することが非常に大事だと考えられている。特に地元のミーティング場の案内は、確実に患者ひとりひとりに行き渡るようにする。その分の資金は以下のような方法でまかなっている。

- 1・地域あるいは地区のサービス委員会もしくは地元のオフィスからの献金。
- 2・グループがこの目的のために特別献金を募り、それによって購入。
- 3・グループの治療施設委員を通して、グループから提供される。（治療施設委員会があって、このようなところまで上手く機能している場合）
- 4・委員会メンバーからの献金
- 5・特別基金

- a. クラブ基金…クラブのメンバーが、治療施設向けの出版物に用途を限った基金に献金。
- b. 特別ミーティングもしくは特別ディナーの集まりで、資金を募る。
- c. 定例のミーティングで「治療施設向けの出版物のために」と書かれた特別献金箱を準備。

### 暫定的な連絡先およびスポンサーシップ

経験によれば、たとえば患者が治療施設内でグループやミーティングに参加し続けたとしても、施設外の普通のグループへ移行する時には不安が伴うものである。AAが提供できるのはソプラエティのみだということに留意しながらも、多くの委員会では当人の連絡先をいくつか渡して、施設から外部へ移る転換期を乗り越えやすくしている。これは、治療とホームグループとの「ギャップを埋める橋渡し」と呼ばれており、GSOでも「ギャップを埋めるには」というパンフを発行している。

- 1・暫定的な連絡先を用意するプログラムを作っている地域がどんどん増えている。
- 2・オフィスを備えた地域では、退所／退院することになった患者に臨時のスポンサーや臨時の連絡先を紹介することもある。
- 3・入院中に患者が外部のミーティングに出席することを許可している施設もあり、その場合、比較的楽にギャップが埋められている。
- 4・患者が治療施設や病院を退所／退院する日に、連絡チェアパーソンかミーティングスポンサーが会うようにする。スポンサーシップというのは個人的な事柄のため、患者が施設外のAAとコンタクトを取ったら、自分自身で自分に合ったスポンサーを選んだ方がよいというのが、地域の経験で分かったことである。

最初の連絡先になった人が引き続きスポンサーとなる必要は必ずしもないが、とはいえ、施設と外部のAAグループとをつなぐ、欠くことのできないパイプ役であることは事実だと言える。

### メンバーへのお知らせ

あらゆるAAの活動と同様、受けた要請や進捗状況についてコミュニケーションを図ることは重要である。そのようなコミュニケーションを図るには：

- 1・グループは、地区・地域・セントラルオフィスのミーティングに代表者を送る。
- 2・地域や地区、セントラルオフィスが発行するニューズレターを利用する。自分たちでニューズレターを発行し、お互いに情報を分かち合う方法を探っている治療施設委員会もある。
- 3・治療施設委員会の委員が定例のAAミーティングでみんなにお知らせをする。

- 4・地域で開催する催しや、もっと大きな規模のコンベンション等で治療施設ワークショップを開く。
- 5・月例で開催される治療施設委員会への参加をAAメンバー全員に呼びかける。また、委員会議事録を配布し、メンバー全員に情報を知ってもらう。また議事録は、委員会活動とその進捗状況についての記録となる。GSOに議事録を送っていただくと非常に役立つ記録となるのでよろしく。

### アラノンとの関係

患者の家族にAAについて理解を深めてもらうためにも、アラノン・ファミリー・グループとの協力は大事だという報告が多くの地域から出た。

### GSOとの関係

アメリカ／カナダのGSOには治療施設委員会のチェアパーソンと委員会メンバーへの発送リストがあり、治療施設の項目を備えた隔月発行の「BOX4-5-9」と、委員会情報もカバーした年2回発行の「治療施設ニューズレター」が配布されている。

委員会チェアパーソンには、「治療施設ワークブック」と「AA住所録」さらに専門家向けのニューズレターの「ABOUT AA」が送られる。

あなたの地域内における委員会活動の報告をどうぞお送りいただきたい。参考になるものを「BOX4-5-9」やニューズレターで紹介させていただければ、報われるものが多いこのサービスに関わる多くの人たちのお役に立つことと思う。